

今日は連休の合間ですが、お天気もよく、ほっとするお休みになっているのではないのでしょうか。また、明日から後半のお休みになりますね。皆さんはいかがなお休みでしょうか。カレンダー通りという方もいることと思います。私もその一人です。

そこには、いまさら遠出するのは、途中のような感じで迷ってしまう。近場でとなり、見かけた映画をみよう、お墓参りに行こうなど、つい簡単な行動に繋がってしまいます。

計画性がないことが一番ですね。また、この休みの時に片づけたい、整理したいという思いも出てきます。休んで楽しみというより、何かすっきりしたい心境のような思いもします。皆さんはいかがでしょうか。よき連休でありますように。

さて遅くなりました。5月のスケジュール表を添付いたします。どうぞご査収ください。

(菅野)

目次

- 1 第8回がんとの共生のあり方に関する検討会（資料）
- 2 ストレスチェック制度等のメンタルヘルス対策に関する検討会 第2回資料
- 3 「第3回 労働安全衛生法に基づく一般健康診断の検査項目等に関する検討会」を開催します
- 4 関連情報

1 第8回がんとの共生のあり方に関する検討会（資料）

https://www.mhlw.go.jp/haishin/u/!?p=qU-YvGQ_o361N6o7Y

- ・議事次第 [PDF形式：64KB]
- ・資料1 [がんの緩和ケアに係る部会からの報告（緩和ケア研修会の見直し）](#) [PDF形式：1.4MB]
- ・資料2 [第3回患者体験調査速報値報告（中澤参考人提出資料）](#) [PDF形式：2.9MB]
- ・資料3 [アピアランスケアについて](#) [PDF形式：2.8MB]
- ・資料4 [医療機関におけるアピアランスケア実装に向けた現状と課題（藤間参考人提出資料）](#) [PDF形式：1.5MB]
- ・参考資料1 [「がんとの共生のあり方に関する検討会」開催要綱](#) [PDF形式：194KB]
- ・参考資料2 [第4期がん対策推進基本計画について](#) [PDF形式：695KB]
- ・参考資料3 [緩和ケア研修会について](#) [PDF形式：952KB]
- ・参考資料4 [日本緩和医療学会が取り組んでいる緩和ケア研修会等関連内容について（下山参考人）](#) [PDF形式：1.2MB]

2 ストレスチェック制度等のメンタルヘルス対策に関する検討会 第2回資料

https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_39939.html

第2回議事次第 [PDF形式：70KB]

- 議事 (1) 職場のメンタルヘルス対策の現状等について
(2) その他<議事次第・資料>

資料1 第1回検討会における主な意見 [PDF形式：553KB]

資料2 ストレスチェックの効果に関する研究成果等 [PDF形式：534KB]

資料3 令和3年度 厚生労働省委託事業「ストレスチェック制度の効果検証に係る調査等事業」報告書（抜粋） [PDF形式：777KB]

参考資料1 これからはじめる職場環境改善～スタートのための手引～ [PDF形式：2.0MB]

参考資料2 いきいき職場づくりのための参加型職場環境改善の手引き [PDF形式：17.4MB]

参考資料3 平成26年2月4日付け労働政策審議会答申 [PDF形式：825KB]

参考資料4 参照条文 [PDF形式：252KB]

参考資料5 事業場における労働者の健康保持増進のための指針 [PDF形式：264KB]

参考資料6 労働者の心の健康の保持増進のための指針 [PDF形式：351KB]

参考資料7 ストレスチェック指針 [PDF形式：543KB]

参考資料8 ストレスチェック実施マニュアル [PDF形式：7.1MB]

3 「第3回 労働安全衛生法に基づく一般健康診断の検査項目等に関する検討会」を開催 します

https://www.mhlw.go.jp/haishin/u/l?p=rUuS6G0AXvNjLAg_Y

日時：令和6年5月10日（金）13:00～15:00

場所：中央合同庁舎5号館12階専用第15会議室（東京都千代田区霞が関1-2-2）

- 議題 (1) 労働安全衛生法に基づく一般健康診断の現状と課題等に関する構成員からの
ヒアリング
(2) 「労働安全衛生法における一般定期健康診断の検査項目等に関する社会状況
等の変化に合った科学的根拠に基づく検討のための研究」報告
(3) その他

4 関連情報

◇ 厚生労働省▼△新着情報配信サービス から

(1) セルフメディケーション税制（医療費控除の特例）について

<https://www.mhlw.go.jp/haishin/u/l?p=Sa93GLVhkJcQ2XrbY>

セルフメディケーション税制（特定の医薬品購入額の所得控除制度）は、医療費控除の特例として、健康の維持増進及び疾病の予防への取組として一定の取組を行う個人が、平成29年1月1日以降に、スイッチOTC医薬品（要指導医薬品及び一般用医薬品のうち、医療用から転用された医薬品）を購入した際に、その購入費用について所得控除を受けることができるものです。

○[制度概要](#) [[PDF形式：171KB](#)] [[171KB](#)]

※令和4年1月以降、制度が5年延長され、税制対象医薬品の範囲が拡充されました。
（対象有効成分リスト）

1. [スイッチOTC医薬品有効成分リスト](#) [[PDF形式：50KB](#)] [[50KB](#)]
2. [非スイッチOTC医薬品有効成分リスト（令和4年1月1日以降）](#) [[PDF形式：32KB](#)] [[32KB](#)]

(2) 危険ドラッグの成分1物質及び3物質群を新たに指定薬物に指定

～指定薬物等を定める省令を公布しました～

<https://www.mhlw.go.jp/haishin/u/l?p=UbduFJH8og-f0PfDY>

厚生労働省は、本日付けで危険ドラッグに含まれる別紙の1物質及び3物質群を新たに「指定薬物」（※1）として指定する省令（※2）を公布し、令和6年5月11日に施行することとしましたので、お知らせします。

■[別紙（PDF）](#)

<https://www.mhlw.go.jp/content/11126000/001250830.pdf>

(3) 「社会保険適用拡大特設サイト」をリニューアル

https://www.mhlw.go.jp/haishin/u/l?p=_xnIXtO0qvbOVfhtY

(4) 令和5年度 第9回化学物質管理に係る専門家検討会 議事録

https://www.mhlw.go.jp/haishin/u/l?p=F_EgtjtcQh4mvR-FY

(5) 令和6年度第1回化学物質管理に係る専門家検討会を開催します

<https://www.mhlw.go.jp/haishin/u/l?p=fZtAVc18UekKNKPvY>

(6) 令和6年度化学物質管理に係る専門家検討会

<https://www.mhlw.go.jp/haishin/u/l?p=4wXey1Piz3eUqjJxY>

(7) 被保護者調査（令和6年2月分概数）

<https://www.mhlw.go.jp/haishin/u/l?p=o0Wc5mMOUP1tIgcxY>

(8) 「企業の配偶者手当の在り方の検討」のサイトを更新しました

<https://www.mhlw.go.jp/haishin/u/l?p=g2WzsApX7SUmUncRY>

(9) 最低賃金引上げに向けた中小企業・小規模事業者への支援事業

<https://www.mhlw.go.jp/haishin/u/l?p=n3mqDqCHucOT2ZgNY>

(10) 『厚生労働』2024年5月号。・【広報誌「厚生労働」のご紹介はこちらから】

https://www.mhlw.go.jp/stf/houdou_kouhou/kouhou_shuppan/magazine/202405.html

https://www.mhlw.go.jp/houdou_kouhou/kouhou_shuppan/magazine/

▶特集 お産の施設、どう選ぶ？

分娩施設の情報提供 Web サイト誕生！「出産費用の見える化」が始まります

▶TOPICS \ 4月公開! /

利用案内サイトでマイナンバーカードの保険証利用について知ろう

◇ 保健指導リソースガイド から

(1) 厚労省「地域・職域連携ポータルサイト」を開設

人生100年時代を迎え、保健事業の継続性は不可欠

<https://i.r.cbz.jp/cc/pl/kcax9386/h3e4w9epkspt/cntht64v/>

超高齢社会を迎え、社会が多様化するなか、個々人の健康課題も多様化しており、「誰一人取り残さない健康づくり」を目指した『健康日本21（第三次）』も令和6年度からスタート。それを支える保健事業として地域保健と職域保健の連携事業は必要不可欠のものとなっている

(2) 「第4期特定健診・特定保健指導」特設ページ

令和6年度から開始となった「第4期特定健診・特定保健指導」に関連する情報をとりまとめています。随時更新しますので、最新情報の確認にお役立てください

https://tokuteikenshin-hokensidou.jp/info/4th_period.php

(3) いま注目されている健康課題とは？「サイト利用者アンケートの結果」

2024年1月に「健康課題」と「健康管理システム／健康支援サービス」の活用について、アンケートを実施しました。その結果をご紹介します。

<https://tokuteikenshin-hokensidou.jp/article/2024/013002.php>

(4) 運動が心血管疾患リスクを23%低下 ストレス耐性も高められる

毎日11分間のウォーキングでも効果が

<https://i.r.cbz.jp/cc/pl/kcax9386/ghcjae4916q6/cntht64v/>

(5) 働く人に伝えたい！薬との付き合い方「身近にも起こる市販薬の乱用」

(一般社団法人 日本くすり教育研究所／代表理事 加藤 哲太)

⇒近頃、市販の風邪薬や咳止め薬といった身近な医薬品の乱用が増加しています。市販薬の乱用に関しては、2019年ごろからマスメディアでも多く取り上げられています。

本記事では、「本当に身近な令和の薬物乱用」について解説します！

<https://tokuteikenshin-hokensidou.jp/article/2024/013007.php>

(6) 第31回 日本産業精神保健学会

「AI時代と産業精神保健の新しいパラダイム～産業医学の聖地からの発信～」

2024年8月24日(土)～25日(日)

オンデマンド配信：9月1日(日)～9月23日(月)

<https://i.r.cbz.jp/cc/pl/kcax9386/b2h0z8pwcjby/cntht64v/>

◇ J I L P T から

(1) 女性の職業生活における活躍推進プロジェクトチームの会合開催／政府

政府は24日、「女性の職業生活における活躍推進プロジェクトチーム」の第1回会合を開催した。首相は、「女性活躍・男女共同参画は我が国の経済社会の持続的発展に不可欠」で、政府として女性活躍に向け課題に取り組んでいるが、「産業ごとの状況にばらつきが見られる。まずは、大企業を中心に、各産業の特性や事情など、関係省庁が産業横断的に検証し、産業ごとの推進方策を実行する必要がある」とし、本プロジェクトチームで「各省庁連携し、構造的な賃上げを含め、職場環境の変革を強力に推し進めてほしい」と述べた。

https://www.kantei.go.jp/jp/101_kishida/actions/202404/24josei.html

(2) 「消滅可能性」744自治体、少子化基調は変わらず／人口戦略会議レポート

有識者で構成する人口戦略会議が24日、「人口戦略シンポジウム」を開催し、「令和6年・地方自治体『持続可能性』分析レポート」を発表した。同レポートは、若年女性人口の減少率が2020年から2050年までの間に50%以上となる自治体（消滅可能性自治体）が744自治体だと指摘。前回（2014年）の分析結果（896自治体）より減少しているものの、外国人の入国超過数が大きく増加していることなどから、実態として少子化基調は全く変わっていないことに留意すべきとしている。会議事務局の北海道総合研究調査会ウェブサイトで会議資料を公表している。

▽分析レポート（北海道総合研究調査会 HP）

https://www.hit-north.or.jp/cms/wp-content/uploads/2024/04/01_report-1.pdf

▽『全国1729自治体の持続可能性分析結果リスト』（Excel版）

https://www.hit-north.or.jp/cms/wp-content/uploads/2024/04/02_list.xlsx

▽首相メッセージ（首相官邸 HP）

https://www.kantei.go.jp/jp/101_kishida/discourse/20240424message.html

◇ 産業医学振興財団メールマガジン から

(1) 講習会のご案内

産業保健実践講習会 東京会場（令和6年8月4日（日曜）開催）の受付を
5月13日（月）正午から開始いたします。

講習会の詳しいご案内、お申し込みはこちらからお願いいたします。

https://www.nishitetsutavel.jp/niccs_sangyohoken_jissen_r6/0804tokyo

1. 対象者： 産業医、保健師、看護師、衛生管理者、衛生推進者等
2. 取得単位： 日本医師会認定産業医制度産業医学研修の単位（生涯研修）
日本産業衛生学会の産業保健看護専門家制度の研修単位
3. 受講料： 20,000円 4. 受付期間： 5月13日（月）正午～ 定員に達するまで

(2) 新刊のご案内 面接指導の経験がそれほど豊富ではない産業医でも理解・実践できる！

『医師による面接指導マニュアル2 長時間労働者編』

- ・ 著者：堀江 正知（産業医科大学 産業保健管理学的研究室 教授 / 副学長）
- ・ 体裁：B5判/112頁/本文2色刷
- ・ 価格：2,200円（税込定価）→★メルマガ特典価格 1,980円（税込・別途送料350円）
- ・ 発売：令和6年4月26日

詳しいご案内、お申し込みについては以下からご確認ください。

<https://www.zsisz.or.jp/shop/book/2024/04/how-to-no2.htm>

◇ ◆【From_M】 から 情報提供ありがとうございます。

◆第161回労働政策審議会安全衛生分科会（資料）

日時：令和6年4月26日（金）14：00～16：00

https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_39961.html

◆≪動画まとめ≫熱中症予防スイッチ・オン

その行動、その習慣が、いのちを守る 自分でできる7つのこと

厚生労働省 / Ministry of Health, Labour and Welfare

<https://www.youtube.com/playlist?list=PLMG33RKISnWiGjgye5FpkqBJUvkrWn98F>

◆化学物質管理強調月間を創設します

～厚生労働省と環境省が連携し事業場の化学物質管理の取り組みを促進～

https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_39828.html

<https://www.mhlw.go.jp/content/11305000/001249565.pdf>

- ◆アルコール健康障害に係る地域医療連携等の効果検証および関係者連携会議の実態調査に関する研究（筑波大学健幸ライフスタイル開発研究センター／2024年4月30日）

<https://tokuteikenshin-hokensidou.jp/reference/2024/04/post-1050.php>

- ガイドライン3種を公表しました（2024/4/30 12:00）

<https://rdcli.md.tsukuba.ac.jp/news-guideline/>

- 健康診断および保健指導におけるアルコール健康障害への早期介入に関するガイドライン
- 医療機関でのアルコール健康障害への早期介入と専門医療機関との円滑な連携に関するガイドライン
- 地域におけるアルコール関連問題への対応と医療との円滑な連携に関するガイドライン

- アルコール健康障害対策を目的とした健康診断／保健指導、医療連携、地域連携に関する、ガイドライン3種類を含めた報告書を公表

URL <https://rdcli.md.tsukuba.ac.jp/resource/>

- ◆「仕事を続けていれば脳は衰えない」は大誤解…和田秀樹

「50代の前頭葉老化を防ぐたった1つの方法」

<https://news.yahoo.co.jp/articles/119bdfa4912999143878a64e6b47001cca2ebd78>

老化の兆候が表れるのはいつか。医師の和田秀樹さんは「脳の中の『前頭葉』の機能が衰えると、本当の老化が始まる。最近どうも意欲が湧いてこない、感情が乏しくなった気がするという状態であれば、あなたの前頭葉は劣化が始まっているのかもしれない。このような『前頭葉バカ』の状態を食い止めるには、これまでに経験したことがない新しい体験をすることだ」という――。

- ◆高齢者医療のスペシャリストが50代にも伝えたい「健診の数値は気にしなくていい」

<https://news.yahoo.co.jp/articles/1e0087a8c2db04a168fb8115cb46a6ec669673f3>

健康診断の結果が気になる50代にとって、コレステロール・中性脂肪・血糖値…いずれも鬼門ワードです。やれ悪玉が多いだの善玉を増やせだの、医師の診断で薬を真面目に飲んで節制する日々、やがて好きだった趣味にも意欲を失ってしまう――。人生100年時代を快活に生き抜くための考え方を、高齢者専門の精神科医・和田秀樹氏が紹介します。

- ◆新年度「職場の五月病」コロナ禍の深い影響下で集団発生？

40、50代社員も疲弊する“ココロの2024年問題”

<https://news.yahoo.co.jp/articles/b5ed6219e0b5240e496be9e539c84defdd9b11fa>

五月病が40代以上におよび、“ココロの2024年問題”へ発展も

◆LGBTQ+に関する地域金融機関の取組状況と従業員の意識を可視化するアンケート調査
結果紹介

<https://www.mizuho-rt.co.jp/case/research/sogi-study.html>

全国の地域金融機関（地方銀行／第二地方銀行／信用金庫）と従業員を対象に、LGBTQ+*1に関する取組状況と意識や風土を可視化するアンケート調査を実施しました。地域金融機関とLGBTQ+に関する数少ない調査研究の1つとなります。

錦戸 典子 （両立支援担当）

noriko-nishikido@honbu.johas.go.jp

中山 篤 （メンタルヘルス担当）

atsui78natsu@gmail.com

菅野 由喜子 （メンタルヘルス担当）

yukikan28@gmail.com